



「誰も殺すな」「大軍拡反対」と声をあげた祈念行動＝21日、東京都渋谷区

# 「誰も殺すな」宗教者叫ぶ

## 東京・渋谷 ガザ虐殺・軍拡に抗議

「平和をつくり出す宗教者ネット」や「平和を実現するキリスト者ネット」など4団体が呼びかけて21日、「殺すな！パレスチナの市民のいのちを救おう！岸田大軍拡反対！武器輸出反対！渋谷ハ

チ公前第21回連続祈念行動」をJR渋谷駅前で行いました。宗派を超えた宗教者らは、パレスチナ自治区ガザでのイスラエルによる侵攻・虐殺と岸田政権が進める軍拡に反対の声を上げました。

カトリック信者の女性(71)＝東京都北区

「ガザでは、小さな子どもたちが爆撃で手足を無くし、たくさんの人が餓死しています。『私も痛い。私はそこに思いを寄せる』と思える人が、菩薩(ぼさつ)です。銃をつくるな、爆弾を落とすな、誰も殺すなと声をあげましょう」と訴えました。

仏教徒の女性(53)

「千葉県成田市」は、「祈りをもっと重んじましょう。そして政治を変えるために選挙に絶対行ってほしい」と話し、「言いたいこと

を公の場所で言える国は、そんなに多くないです。今叫ぶるうちに声をあげましょう」と語りました。

別の仏教徒の女性(50)＝東京都台東区

「こんな惨劇が起きている最中でも、岸田政権が私たちの税

金でアメリカから弾薬やミサイルを買い、戦争をする準備を進めています。憲法9条があるのに戦争ができるように法律を変えています。もっと怒った方がよいのではないのでしょうか」と呼びかけました。

た。